

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 3 月

計画の名称	7 良好な河川環境と都市環境を保全・創出し、人々が憩い、賑わう河川整備									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	東京都、台東区、墨田区、葛飾区、北区、江戸川区					
計画の目標	うるおいのある水辺の形成、生態系の保全・再生及び河川利用などを推進して良好な河川環境と都市環境を形成し、安全で安心かつ活力ある都市の再生を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境を再生するため、復元・創出した湿地帯の面積を600m²から850m²へ増加させる。 汚泥が50cm以上堆積している箇所において、重点的なしゅんせつを実施し、汚泥除去達成率を15%から56%に増加させる。 区部中心部において、人々が集い、賑わいあふれる魅力的な水辺空間を創出する親水拠点整備数を2箇所から4箇所に増加させる。 災害時に陸上交通網を補充し、帰宅困難者の解消や物資輸送等の道路負担の軽減を担うとともに、平常時にも魅力ある舟運ネットワーク形成する防災船着場を、21箇所から26箇所に増加させる。 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
A 4 魅力的な水辺空間の創出 豊かな自然環境を再生するため、復元・創出した湿地帯の面積 (m ²)				600m ²	600m ²	850m ²	・定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。			
A 4 魅力的な水辺空間の創出 水質改善に寄与する重点的な汚泥しゅんせつにより、汚泥が50cm以上堆積している箇所において汚泥を除去した割合 (%) 汚泥除去達成率 (%) = (汚泥の除去を実施した量 (m ³) / (単位川幅あたり50cm以上堆積している汚泥の堆積量 (m ³)) × 100				15%	38%	56%				
A 4 魅力的な水辺空間の創出 区部中心部において、人々が集い、賑わいあふれる魅力的な水辺空間を創出する親水拠点の整備箇所数				2箇所	3箇所	4箇所				
A 4 魅力的な水辺空間の創出 地震などの災害発生時に寸断された陸上交通網の補充し、帰宅困難者の解消や物資輸送等の道路負担の軽減を担うとともに、平常時においても多様で魅力ある舟運ネットワークを形成する防災船着場の整備箇所数				21箇所	23箇所	26箇所				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,335 百万円	A	1,335 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東京都内部で事後評価を実施	平成28年2月
	公表の方法
	東京都ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A4 魅力的な水辺空間の創出															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A4-1	河川	一般	東京都	直接	-	多摩川圏域総合流域防災事業（野川）	自然再生	小金井市	■	■	■	■	■	106	旧地域自主
1-A4-2	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（隅田川）	汚泥しゅんせつ (295千m ³)	北区 他6区	■	■	■	■	■	500	旧地域自主
1-A4-3	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（新河岸川）	汚泥しゅんせつ (137千m ³)	北区 他1区	■	■	■	■	■	221	旧地域自主
1-A4-4	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（横十間川）	モニタリング	隅田区 他1区	■	■	■	■	■	138	旧地域自主
1-A4-5	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（渋谷川・古川）	親水拠点整備 (N=1箇所)	渋谷区	■	■	■	■	■	3	旧地域自主
1-A4-6	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（日本橋川）	-	千代田区	■	■	■	■	■	0	H24地域自主
1-A4-7	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（新中川）	河川緑化 (0.5km)	江戸川区	■	■	■	■	■	189	旧地域自主
1-A4-8	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（乞田川）	-	多摩市	■	■	■	■	■	0	旧地域自主
1-A4-9	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（大栗川）	河川緑化 (0.1km)	多摩市	■	■	■	■	■	24	旧地域自主
1-A4-10	河川	一般	台東区	直接	-	統合河川環境整備事業（二天門防災船着場）	防災船着場整備 (1箇所)	台東区	■	■	■	■	■	120	旧地域自主

1-A4-11	河川	一般	墨田区	直接	-	統合河川環境整備事業（平井橋防災船着場）	防災船着場整備（1箇所）	墨田区							9	旧市街地整備
1-A4-12	河川	一般	葛飾区	直接	-	統合河川環境整備事業（北沼公園防災船着場）	防災船着場整備（1箇所）	葛飾区							24	旧市街地整備
1-A4-13	河川	一般	北区	直接	-	統合河川環境整備事業（志茂防災船着場）	-	北区							0	旧市街地整備
1-A4-14	河川	一般	江戸川区	直接	-	統合河川環境整備事業（小岩大橋防災船着場）	-	江戸川区							0	旧市街地整備

小計（魅力的な水辺空間の創出）

1,335

合計

1,335

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
					-											
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C4-1	河川	一般	東京都	直接	-	外濠浄化事業	-	千代田区 他2区						0	H24地域自主
合計														0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C4-1	基幹事業（1-A4-2）における浄化事業とともに、外濠を浄化することにより、隅田川の浄化に寄与する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		ほとんどの指標で概ねの割合を達成しており、良好な河川環境と都市環境の形成に寄与している。													
II 定量的指標の達成状況	指標①（復元・創出した湿地帯の面積）	最終目標値	850m ²	目標値と実績値に差が出た要因	地元調整の結果、湿地の整備時期に遅延が生じたため、目標の2割程度にとどまっているが、一定の効果は得られている。										
		最終実績値	650m ²												
	指標②（汚泥除去達成率）	最終目標値	56%	目標値と実績値に差が出た要因	しゅんせつ予定地からダイオキシンの含有が確認されたため、処分方法の確立やしゅんせつ予定箇所の変更等により目標を達成することができなかったが、目標の約7割を達成しており、一定の効果は得られている。										
		最終実績値	44%												
	指標③（親水拠点の整備箇所数）	最終目標値	4箇所	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成している。										
		最終実績値	4箇所												
	指標④（防災船着場の整備箇所数）	最終目標値	26箇所	目標値と実績値に差が出た要因	川沿いの開発に合わせて区が整備を予定していたが、その開発の遅延に伴い、防災船着場の整備が遅れたなど、目標を達成することができなかったが、目標の約6割を達成しており、一定の効果は得られている。										
		最終実績値	24箇所												

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

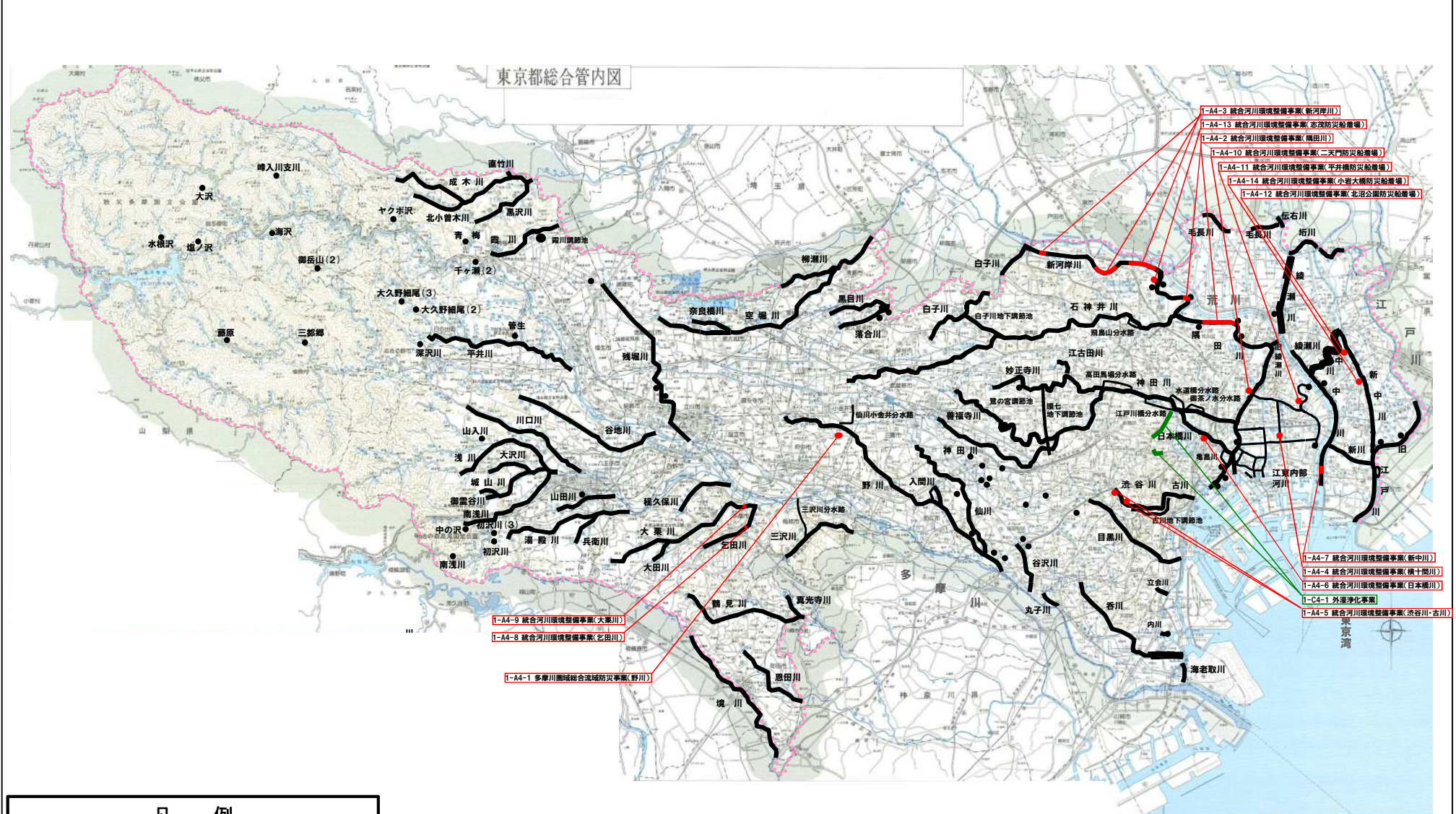
指標① 復元・創出した湿地帯の面積については目標に達していないが、自然再生の活動を通じ、自然再生の目的の一つである自然や生き物に触れ合う人々の数が増加している。

3. 特記事項（今後の方針等）

平成27年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業を推進し、良好な河川環境と都市環境の形成を図る。

(参考図面)

計画の名称	7 良好な河川環境と都市環境を保全・創出し、人々が憩い、賑わう河川整備		交付対象	東京都、台東区、墨田区、葛飾区、北区、江戸川区
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度			



凡 例	
A: 基幹事業	—● (Red line and dot)
B: 関連社会資本整備事業	—● (Blue line and dot)
C: 効果促進事業	—● (Green line and dot)
補助事業	—● (Purple line and dot)
都 県 境	— (Pink dashed line)